

安全データシート



発行日 / 改訂日
第 21 版

2022 年 6 月 28 日

セクション 1. 製品および会社情報

製品名 : 79602 オリピック マキシマム ステイン シーラント ソリッドカラー ベース 2
製品コード : 00402354
その他の識別手段 : データなし。
製品の種類 : 液体。

化学物質または混合物の推奨用途および使用上の制限

製品の用途 : 民生用、業務用、スプレー用。
化学物質 / 混合物の用途 : 塗料。
使用上の制限 : 該当なし。

製造業者 : PPG Industries, Inc.
One PPG Place
Pittsburgh, PA 15272
(412) 434-4515 (米国)
(514) 645-1320 (カナダ)
SETIQ Interior de la República: 800-00-214-00 (メキシコ)
SETIQ Ciudad de México: (55) 5559-1588 (メキシコ)

テクニカルサービスの電話番号 : 1-800-441-9695 (米国東部標準時 8:00 am~5:00 pm)

販売者 : 株式会社 新宮商行

緊急時の連絡先 : 011-644-1011 (株)新宮商行 札幌支店
03-3649-7131 (株)新宮商行 東京本社

セクション 2. 危険有害性の要約

OSHA/HCS ステータス : 本化学物質は OSHA の危険有害性周知基準 (29 CFR 1910.1200) により危険有害性があると判断されている。

化学物質または混合物の分類 : 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) - 区分 2
急性毒性が不明の成分から成る混合物の割合: 21.2% (経口)、21.2% (経皮)、22.6% (吸入)

GHS ラベル要素

危険有害性を示す絵文字 :



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 長期または反復ばく露による臓器 (腎臓) の障害のおそれ。

製品コード 00402354

発行日 2022 年 6 月 28 日

第 21 版

製品名 79602 オリピック マキシマム ステイン シーラント ソリッドカラー ベース 2

セクション 2. 危険有害性の要約

注意書き

予防 対応

- : 蒸気を吸入してはならない。
- : 気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。
感光剤: 誤って目に入った場合、火傷を含む重度の刺激を引き起こすおそれがあるため、太陽またはその他の紫外線源への直接ばく露を避ける。これらの反応は遅発性である。接触後に痛み、刺激、水疱が生じた場合、医師の手当てを受ける。誤って目に入った場合、火傷を含む重度の刺激を引き起こすおそれがあるため、太陽またはその他の紫外線源への直接ばく露を避ける。これらの反応は遅発性である。接触後に痛み、刺激、発疹、水疱が生じた場合、医師の手当てを受ける。

保管 廃棄

- : データなし。
- : 内容物および容器は現地、地域、国、および国際的な規制に従って廃棄する。

補助的ラベル要素

- : イソシアゾリノン含有。アレルギー反応を引き起こすおそれがある。研磨および研削時の粉塵は、吸入すると危険有害性を引き起こすおそれがある。皮膚および衣服に接触させてはならない。取り扱った後、十分に洗う。加熱すると、有毒ヒュームが発生する。

その他の分類されていない 危険有害性

- : 長期または反復接触すると、皮膚が乾燥し、刺激を引き起こすおそれがある。

セクション 3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別

: 混合物

製品名

: 79602 オリピック マキシマム ステイン シーラント ソリッドカラー ホワイト ベース 2

成分名	%	CAS 番号
珪藻土	≥1.0 - ≤5.0	61790-53-2
エタンジオール	≥1.0 - ≤5.0	107-21-1

SUB コードは、CAS 番号が登録されていない化学物質を表す。

濃度が範囲で示されているのは、守秘義務を遵守するため、またはバッチ間に変動が生じるためである。

供給業者の現在の知見および適用される濃度において、本製品の補足的な成分の中に、健康または環境への危険有害性があるものとして分類されているために、本セクションで報告が義務付けられている成分は含まれていない。

職業ばく露限界値が設定されている場合、セクション 8 を参照。

セクション 4. 応急措置

本製品の使用中または使用後に、摂取、刺激、何らかの過剰ばく露、または過剰ばく露の症状が生じた場合、直ちに中毒情報センター、救急外来または医師に連絡し、安全データシート情報を用意する。意識不明または痙攣している人に、決して飲食物を口から与えないこと。

必要な応急措置の説明

眼に入った場合

- : コンタクトレンズを外し、まぶたを 10 分以上開けた状態で清潔な真水で十分に洗浄した後、直ちに医師の診断を受ける。

誤って目に入った場合、火傷を含む重度の刺激を引き起こすおそれがあるため、太陽またはその他の紫外線源への直接ばく露を避ける。これらの反応は遅発性である。接触後に痛み、刺激、水疱が生じた場合、医師の手当てを受ける。

吸入した場合

- : 新鮮な空気の場所に移動する。患者を暖かくして安静にさせる。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、または呼吸が停止している場合、訓練を受けた者が人工呼吸または酸素吸入を行う。

製品コード 00402354

発行日 2022 年 6 月 28 日

第 21 版

製品名 79602 オリピック マキシマム ステイン シーラント ソリッドカラー ベース 2

- 皮膚に付着した場合** : 汚染された衣類と靴を脱ぐ。皮膚を石鹼と水で十分に洗うか、一般的な皮膚用液体石鹼を使用する。溶剤またはシンナーを使用しない。
誤って目に入った場合、火傷を含む重度の刺激を引き起こすおそれがあるため、太陽またはその他の紫外線源への直接ばく露を避ける。これらの反応は遅発性である。接触後に痛み、刺激、発疹、水疱が生じた場合、医師の手当てを受ける。
- 摂取した場合** : 飲み込んだ場合、直ちに医師の診断を受け、この容器またはラベルを医師に見せる。患者を暖かくして安静にさせる。嘔吐させない。

急性および遅発性の最も重要な症状 / 影響

健康への急性影響の可能性

- 眼に入った場合** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 吸入した場合** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 皮膚に付着した場合** : 皮膚の脱脂。皮膚が乾燥し、刺激を引き起こすおそれがある。
- 摂取した場合** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰ばく露の徴候 / 症状

- 眼に入った場合** : 詳細データなし。
- 吸入した場合** : 詳細データなし。
- 皮膚に付着した場合** : 有害症状には次の症状が含まれる:
刺激
乾燥
ひび割れ
- 摂取した場合** : 詳細データなし。

必要な場合、応急手当および必要とされる特別な処置の指示

- 医師への注意事項** : 対症療法を行う。大量に摂取または吸入した場合、直ちに毒物治療専門医に連絡する。
- 特定の処置** : 特定の処置なし。
- 応急措置実施者の保護** : 人的リスクを伴うような措置、または適切な訓練を受けずに措置を講じてはならない。救助者が口移して人工呼吸を行うと、救助者自身に危険が及ぶおそれがある。

有害性情報 (セクション 11) を参照

セクション 5. 火災時の措置

消火剤

- 適切な消火剤** : 火災に応じた消火剤を使用する。
- 不適切な消火剤** : 不明。

化学物質から生じる特定の危険有害性 : 火災時または加熱時、圧力が上昇し、容器が破裂するおそれがある。

危険有害な熱分解生成物 : 次の物質が分解生成物に含有されているおそれがある :
炭素酸化物 金属酸化物/酸化物

消火作業用の特別な保護措置 : 火災が発生したら、速やかに火災現場から全員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような措置、または適切な訓練を受けずに措置を講じてはならない。

消火作業用の特別な保護具 : 消火作業者は、適切な保護具および陽圧モードで動作するフルフェイスマスク付き自給式呼吸装置を着用するものとする。

セクション 6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

- 緊急時要員以外について** : 人的リスクを伴うような措置、または適切な訓練を受けずに措置を講じてはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外および保護具を着用していない要員の立ち入りを禁止する。漏出物に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。蒸気またはミストの吸入を避ける。十分に換気を行う。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護具を着用する。
- 緊急時要員について** : 漏出物処理用の衣類が必要な場合、適切および不適切な物質に関するセクション 8 の情報に留意すること。「緊急時要員以外について」の情報も参照。

- 環境に対する予防措置** : 漏出物および流出液の拡散、並びに土壌、水路、排水溝および下水道との接触を避ける。製品が環境汚染（下水道、水路、土壌または大気）を発生させた場合、関係当局に報告する。

封じ込めおよび浄化方法および機材

- 漏出量が少ない場合** : リスクがなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性の場合、水で希釈してぬぐい取る。或いは、非水溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して廃棄する。
- 漏出量が多い場合** : リスクがなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。漏出区域には風上から接近する。下水道、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を洗い流し、廃水処理施設で処理する、または次の手順で処理する。砂、土、バーミキュライト、珪藻土などの不燃性の吸収剤で漏出物を封じ込めた後、容器に回収し、現地の規制に基づいて廃棄する（セクション 13 を参照）。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して廃棄する。汚染された吸収剤は、漏出物と同じ危険有害性を引き起こすおそれがある。注記：緊急時の連絡先についてはセクション 1 を、廃棄方法についてはセクション 13 を参照。

セクション 7. 取扱いおよび保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置

- 保護措置** : 適切な個人保護具を着用する（セクション 8 を参照）。蒸気またはミストの吸入を避ける。摂取してはならない。眼、皮膚または衣類に接触させてはならない。使用しない場合、元の容器または適合素材で作られた承認済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品が残留していて、危険有害性を引き起こす可能性がある。容器を再使用してはならない。
- 特別な予防措置** : 本化学物質が複数の成分の一部である場合、本化学物質を含有する混合物はそのすべての部分にも危険有害性を引き起こすおそれがあるため、他の成分の安全データシートを読んでから混合する。
- 一般的な労働衛生に関する助言** : 本化学物質の取扱い、保管、処理を行う区域での飲食および喫煙は禁止する。作業中は飲食および喫煙の前に手および顔を洗うものとする。飲食用区域に入る前に、汚染された衣類および保護具を脱ぐ。衛生措置に関する追加情報については、セクション 8 も参照。

- 安全な保管条件
(混触危険物質を含む)** : 5°C (41°F) 以下で保管してはならない。現地の規制に従って保管する。元の容器に入れ、直射日光が当たらない換気の良い乾燥した冷暗所で、混触危険物質（セクション 10 を参照）および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は入念に密閉して保管する。開封した容器はしっかり再密閉し、漏出を防止するために直立の状態での保管する。ラベル表示のない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

製品コード 00402354

発行日 2022年6月28日

第21版

製品名 79602 オリピック マキシマム ステイン シーラント ソリッドカラー ベース 2

セクション 8. ばく露防止および保護措置

管理指標

職業ばく露限界値

成分名	ばく露限界値
珪藻土 エタンジオール	OSHA PEL Z3 (米国、2016年6月)。 TWA: 20 mppcf、8時間。 TWA: 80 mg/m ³ 、/(%SiO ₂) 8時間。 ACGIH TLV (米国、2021年1月)。 STEL: 10 mg/m ³ 15分。形状: 吸入性画分。エアロゾルのみ。 STEL: 50 ppm、15分。形状: 蒸気画分 TWA: 25 ppm 8時間。形状: 蒸気画分

略語の説明

A = 許容最大ピーク
ACGIH = 米国産業衛生専門家会議
C = 上限値
F = ヒューム
IPEL = 内部許容ばく露限界値
OSHA = 労働安全衛生庁
R = 吸入性
Z = OSHA 29 CFR 1910.1200 サブパート Z - 毒性物質および危険有害性物質

S = 皮膚吸収の可能性
SR = 呼吸器感受性
SS = 皮膚感受性
STEL = 短期ばく露限界値
TD = 総粉塵
TLV = 限界閾値
TWA = 時間加重平均濃度

許容ばく露限界値については、現地当局に問い合わせること。

推奨監視手順

：ばく露限界値が定められた成分が本製品に含有されている場合、換気またはその他の管理措置の有効性、或いは呼吸用保護具を着用する必要性を判断するために、要員、作業環境の大気または生物学的な側面の監視が必要になることがある。適切な監視基準を参照するものとする。危険有害性物質の判断方法に関する国内の指針書も参照する必要がある。

適切な技術的管理

：作業中に粉塵、ヒューム、気体、蒸気またはミストが発生する場合、作業場の囲い込み、局所的な換気またはその他の技術的管理を実施し、作業者の気中浮遊汚染物質へのばく露レベルを推奨値または法定限度以下に抑える。

環境ばく露防止

：換気装置または加工装置からの排出物を検査し、環境保護法令の要件に適合しているか確認するものとする。排出物を許容レベル以下に低減するために空気清浄機、フィルターまたは加工装置の技術的な修正が必要な場合もある。

個人保護措置

衛生措置

：化学製品を取り扱った後、飲食、喫煙、トイレ使用前および作業終了時に、手、前腕、顔を十分に洗う。汚染された可能性のある衣類は、適切な方法で脱ぐものとする。汚染された衣類は再使用する前に洗濯する。洗眼場および安全シャワーが作業場の近くに設置されているか確認する。

保護眼鏡 / 顔面保護具

：サイドシールド付き保護眼鏡。

製品コード 00402354

発行日 2022年6月28日

第21版

製品名 79602 オリピック マキシマム ステイン シーラント ソリッドカラー ベース 2

皮膚保護具

手保護具

: リスク評価で必要性が示された場合、化学製品を取り扱う際に、承認された規格に適合した耐薬品性の高い不浸透性手袋を常時着用するものとする。手袋の製造業者が指定するパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋の保護特性が維持されているか確認する。材料を問わず、手袋の破過時間は製造業者によって異なることがあることに留意するものとする。複数の化学物質から成る混合物の場合、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。

手袋

: ポリエチレン

身体保護具

: 実施する作業内容および関連リスクに基づいて身体保護具を選択し、本製品を取り扱う前に専門家から承認を受けるものとする。

その他の皮膚保護具

: 実施する作業内容および関連リスクに基づいて適切な履物および追加の皮膚保護具を選択し、本製品を取り扱う前に専門家から承認を受けるものとする。

呼吸用保護具

: 既知または予想されるばく露レベル、製品の危険有害性、選択した呼吸用保護具の安全作業限界値に基づいて呼吸用保護具を選択するものとする。作業者のばく露濃度がばく露限界値を超える場合、認証済みの適切な呼吸用保護具を着用しなければならない。リスク評価で必要性が示された場合、承認された規格に適合したろ過式または給気式呼吸用保護具を適切に着用して使用するものとする。

呼吸用保護具は、29 CFR 1910.134 に準拠したものでなければならない。

セクション 9. 物理的および化学的性質

外観

物理状態	: 液体。
色	: 各色。
臭い	: アルコール臭。
臭いの閾値	: データなし。
pH	: 9.1
融点	: データなし。
沸点	: 100°C (212°F)
引火点	: 密閉式容器: 該当なし。[本製品については燃焼が持続しない。]
自然発火温度	: データなし。
分解温度	: データなし。
燃焼性 (固体、気体)	: データなし。
爆発 (燃焼) 範囲の下限および上限	: データなし。
蒸発速度	: 0.05 (酢酸ブチル = 1)
蒸気圧	: 3.3 kPa (25 mm Hg)
蒸気密度	: データなし。
相対密度	: 1.15
密度 (lbs / gal)	: 9.6
溶解度	: 次の物質に溶解 : 冷水。
分配係数 : n-オクタノール / 水	: 該当なし。
粘度	: 動粘性率 (40°C (104°F)): >21 mm ² /s (>21 cSt)

製品コード 00402354

発行日 2022 年 6 月 28 日

第 21 版

製品名 79602 オリンピック マキシマム ステイン シーラント ソリッドカラー ベース 2

揮発性 : 69% (v/v), 59.787% (w/w)

固体含有量 (w/w) (%) : 40.213

セクション 10. 安定性および反応性

反応性 : 本製品またはその成分の反応性に関する具体的な試験データなし。

化学的安定性 : 本製品には化学的安定性がある。

危険有害反応性の可能性 : 通常の保管および使用条件下では、危険有害反応は発生しない。

避けるべき条件 : 高温にさらされると、危険有害な分解生成物を生成するおそれがある。セクション 7 および 8 の保護措置を参照。

混触危険物質 : 強力な発熱反応を防止するために、次の物質から遠ざける : 酸化剤、強アルカリ、強酸。

分解生成物 : 条件により、次の物質が分解生成物に含有されているおそれがある :
炭素酸化物 金属酸化物/酸化物

セクション 11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

製品 / 成分名	結果	種類	投与量	ばく露時間
エタンジオール	LD50 経皮	ウサギ	9.53 g/kg	-
	LD50 経口	ラット	4700 mg/kg	-

結論 / 要約 : 混合物自体に関するデータなし。

刺激性/腐食性

結論 / 要約

皮膚 : 混合物自体に関するデータなし。

眼 : 混合物自体に関するデータなし。

呼吸器 : 混合物自体に関するデータなし。

感作性

結論 / 要約

皮膚 : 混合物自体に関するデータなし。

呼吸器 : 混合物自体に関するデータなし。

変異原性

結論 / 要約

: 混合物自体に関するデータなし。

発がん性

結論 / 要約

: 混合物自体に関するデータなし。

分類

製品 / 成分名	OSHA	IARC	NTP
珪藻土	-	3	-

製品コード 00402354

発行日 2022年6月28日

第21版

製品名 79602 オリピック マキシマム ステイン シーラント ソリッドカラー ベース 2

発がん性分類コード:

IARC: 1, 2A, 2B, 3, 4

NTP: ヒトに対して発がん性があることが知られている物質、ヒトに対して発がん性があることが合理的に予想される物質

OSHA: +

未収載 / 規定なし: -

生殖毒性

結論 / 要約 : 混合物自体に関するデータなし。

催奇形性

結論 / 要約 : 混合物自体に関するデータなし。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

データなし。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

名称	区分	ばく露経路	標的臓器
エタンジオール	区分 2	経口	腎臓

標的臓器

: 次の臓器に障害を引き起こすおそれのある物質を含有: 血液、腎臓、上気道、皮膚、眼、中枢神経系 (CNS)。

吸引性呼吸器有害性

データなし。

可能性の高いばく露経路に関する情報

健康への急性影響の可能性

- 眼に入った場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 吸入した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚の脱脂。皮膚が乾燥し、刺激を引き起こすおそれがある。
- 摂取した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰ばく露の徴候 / 症状

- 眼に入った場合 : 詳細データなし。
- 吸入した場合 : 詳細データなし。
- 皮膚に付着した場合 : 有害症状には次の症状が含まれる:
 - 刺激
 - 乾燥
 - ひび割れ
- 摂取した場合 : 詳細データなし。

短期および長期ばく露による遅発および即時影響、並びに慢性影響

結論 / 要約 : 混合物自体に関するデータなし。イソチアゾリノン含有。アレルギー反応を引き起こすおそれがある。混合物のアクリレート成分には刺激性がある。皮膚または粘膜に長期または反復接触すると、発赤、水泡、皮膚炎などの刺激症状を引き起こすおそれがある。反復ばく露すると、アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれがある。大気中の飛沫またはエアロゾルを吸入すると、気道に刺激を引き起こすおそれがある。摂取した場合、吐き気、脱力、中枢神経系への影響を引き起こすおそれがある。液体が眼に入った場合、刺激および可逆的な障害を引き起こすおそれがある。これは、(既知の場合) 経口、吸入、経皮のばく露経路および眼への接触による短期および長期のばく露に起因する成分の遅発および即時影響並びに慢性影響を考慮したものである。

短期ばく露

製品コード 00402354

発行日 2022 年 6 月 28 日

第 21 版

製品名 79602 オリンピック マキシマム ステイン シーラント ソリッドカラー ベース 2

即時影響の可能性 : 混合物自体に関するデータなし。

遅発影響の可能性 : 混合物自体に関するデータなし。

長期ばく露

即時影響の可能性 : 混合物自体に関するデータなし。

遅発影響の可能性 : 混合物自体に関するデータなし。

健康への慢性影響の可能性

一般 : 長期または反復ばく露による臓器の障害のおそれ。長期または反復接触すると、皮膚の脱脂を引き起こし、刺激、ひび割れまたは皮膚炎が生じるおそれがある。

発がん性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

変異原性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

生殖毒性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

毒性の数値的尺度 (急性毒性推定値)

製品 / 成分名	経口 (mg/ kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/L)	吸入 (粉塵およびミ スト) (mg/ L)
79602 オリンピック マキシマム ステイン シーラント ソリッドカラー ホワイト ベース 2	29231.5	N/A	N/A	N/A	N/A
エタンジオール	500	9530	N/A	N/A	N/A

セクション 12. 環境影響情報

毒性

データなし。

残留性および分解性

データなし。

生物蓄積性

製品 / 成分名	LogPow	BCF	可能性
エタンジオール	-1.36	-	低

土壌中の移動性

土壌 / 水分係数 (Koc) : データなし。

製品コード 00402354

発行日 2022年6月28日

第21版

製品名 79602 オリンピック マキシマム ステイン シーラント ソリッドカラー ベース 2

セクション 13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、可能な限り最小限に抑えるものとする。本製品、溶液およびあらゆる副生成物の廃棄方法は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法令の要件、並びに現地当局が定めた要件に準拠するものとする。余剰またはリサイクルできない製品は、許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して廃棄する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に廃棄してはならない。不要な包装材料は再利用するものとする。再利用が不可能な場合のみ、焼却または埋め立てを検討するものとする。本化学物質およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。浄化または洗浄されていない空の容器は、注意して取り扱うものとする。空の容器または中袋に製品が残留しているおそれがある。漏出物および流出液の拡散、並びに土壌、水路、排水溝および下水道との接触を避ける。

適用される地域、国、現地の法規制に従って廃棄するものとする。

その他の取扱いおよび従業員の保護については、セクション7「取扱いおよび保管上の注意」およびセクション8「ばく露防止および保護措置」を参照。セクション6「漏出時の措置」も参照。

セクション 14. 輸送上の注意

	DOT	IMDG	IATA
国連番号	規定なし。	規定なし。	規定なし。
国連品名	-	-	-
輸送における危険有害性クラス	-	-	-
容器等級	-	-	-
環境に対する危険有害性 海洋汚染物質	なし。 該当なし。	なし。 該当なし。	なし。 該当なし。

追加情報

DOT : 特になし。
IMDG : 特になし。
IATA : 特になし。

使用者に対する特別な予防措置

: 使用者の敷地内での輸送:常に直立型の安定した密閉容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故または漏出時の対処法を理解しているか確認する。

IMO 文書に基づくばら積み輸送

: 該当なし。

製品コード 00402354

発行日 2022 年 6 月 28 日

第 21 版

製品名 79602 オリピック マキシマム ステイン シーラント ソリッドカラー ベース 2

セクション 15. 適用法令

米国

米国インベントリー (TSCA 8b) : 成分はすべて有効または免除されている。

米国- TSCA 5(a)2 - 最終重要新規利用規則:

 ニルフェノールエトキシレート

収載済み

SARA 302 / 304

SARA 304 RQ : 該当なし。

組成および成分情報

該当する製品なし。

SARA 311 / 312

分類 : 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) - 区分 2
HNOC - 脱脂、刺激

組成および成分情報

組成および成分情報

成分名	%	分類
エタンジオール	≥1.0 - ≤5.0	急性毒性 (経口) - 区分 4 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) - 区分 2 HNOC - 脱脂、刺激

SARA313

供給業者への通知 : 化学名 : エタンジオール CAS 番号 107-21-1 濃度 0.5 - 1.5

SARA313 通知は、本 SDS から切り離してはならず、SDS のコピーおよび再配布には、以後に再配布される SDS のコピーに添付される通知のコピーおよび再配布が含まれるものとする。

環境に関する追加情報は、本製品の環境データシートに記載されており、PPG 担当者から入手することができます。

製品コード 00402354

発行日 2022 年 6 月 28 日

第 21 版

製品名 79602 オリピック マキシマム ステイン シーラント ソリッドカラー ベース 2

セクション 16. その他の情報

危険有害性物質情報システム (米国)

健康面 : 2 * 燃焼性 : 0 物理的危険有害性 : 0

(*)- 慢性影響

注意 HMIS®評価は、0~4 の評価尺度に基づいており、0 は最小の危険有害性またはリスク、4 は重大な危険有害性またはリスクを表している。29 CFR 1910.1200 に基づいて、MSDS または施設から出荷される製品に対して HMIS®評価および関連ラベルの表示は義務付けされていないが、作成者はこれらの提供を選択することができる。HMIS®評価は、全面的に実施されている HMIS®プログラムと併用するものとする。HMIS®は、全米塗料協会の登録商標およびサービスマークである。

本化学物質の PPE コードは、お客様の責任において決定するものとする。HMIS®個人保護具 (PPE) コードの詳細については、HMIS®実施マニュアルを参照。

全米防火協会 (U.S.A.)

健康面 : 2 燃焼性 : 0 不安定性 : 0

前回の発行日 : 2022 年 5 月 26 日

SDS 作成機関 : EHS

略語の説明

: ATE = 急性毒性推定値

BCF = 生物濃縮係数

GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム

IATA = 国際航空輸送協会

IBC = 中型運搬容器

IMDG = 国際海上危険物規定

LogPow = オクタノール / 水分配係数の対数

MARPOL = 1978 年議定書により修正された 1973 年船舶による汚染防止のための国際条約 (「マルポール」= 海洋汚染)

N/A = 該当なし

SGG = 隔離グループ

UN = 国際連合

▶ 前回の版から変更された情報を示している。

免責条項

本データシートに記載された情報は、現在の科学技術的知見に基づいたものである。この情報の目的は、PPG が供給する製品に関する健康および安全性の側面に注意を促し、製品の保管および取扱いに関する予防措置を推奨することである。当社は、製品の性質についていかなる保証も行わない。本データシートに記載された予防措置が講じられなかった場合、あるいは製品が誤って使用された場合、当社はいかなる責任も負わないものとする。